

防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成31年度病害虫発生予察防除情報第1号

トマトのコナジラミ類・黄化葉巻病の防除対策について

トマトにおいて、コナジラミ類の発生が多い傾向にあり、発生の主体であるタバココナジラミが媒介する黄化葉巻病も多い傾向にあります。向こう1か月の気象予報では、気温は高い見込みであり、コナジラミ類の増殖に好適と考えられ、トマト黄化葉巻病が多発する恐れがありますので、下記の点に留意して、防除の徹底をお願いします。

記

1. 発生状況等

(1) 4月前期の巡回調査(12筆)の結果、コナジラミ類の発生圃場率は58.3% (過去8か年平均 28.1%)、寄生葉率は2.9% (過去8か年平均 1.3%) と多い発生であった(図1, 2)。

(2) 4月前期の巡回調査(12筆)の結果、黄化葉巻病の発生圃場率は25.0% (平年 17.7%) 発生株率は0.5% (平年 0.2%) とやや多い発生であった(図3, 4)。

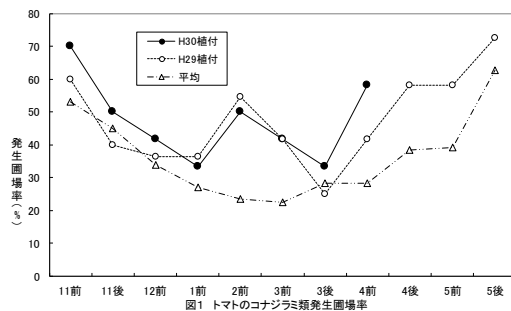


図1 トマトのコナジラミ類発生圃場率

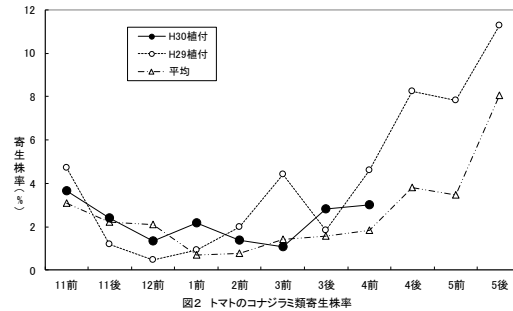


図2 トマトのコナジラミ類寄生株率

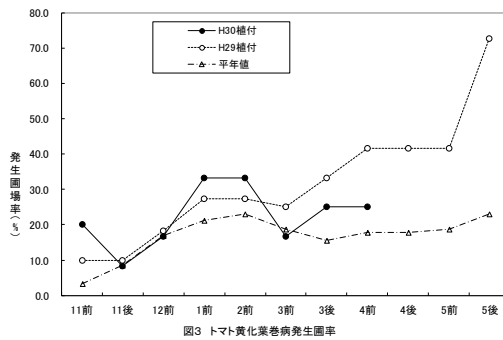


図3 トマト黄化葉巻病発生圃場率

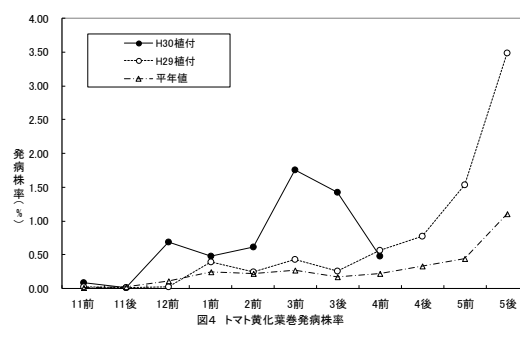


図4 トマト黄化葉巻病発生株率

2. 防除対策

- (1) タバココナジラミの防除を徹底するとともに、ハウス内の発病株は二次伝染源となるので、見つけしだい直ちに抜き取り、施設外に持ち出し適正に処分する。
- (2) タバココナジラミは葉裏に寄生しているため、かけむらがないように丁寧に薬剤散布を行う。
- (3) 薬剤感受性が低下しやすいので、系統の異なる薬剤(平成31年長崎県病害虫防除基準P190~193の「作用機構による分類(IRAC)」参照)をローテーション散布する。
- (4) ハウス内の雑草は病原ウイルスおよび媒介虫の発生源になるので除去する。
- (5) マルハナバチの導入圃場では影響の少ない薬剤を使用する。
- (6) 収穫終了後はハウスを密閉し、蒸し込みを行いハウス内に残存するタバココナジラミを殺虫する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL: 0957-26-0027

